

チャ

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	赤 も 焼 病	網 も 病	白 星 病	新 梢 枯 死 症	炭 疽 病	も ち 病	輪 斑 病	灰 か び 病	黒 葉 腐 病	白 紋 羽 病	褐 色 円 星 病
I Cボルドー66DFL	M1	*a	-	◎					◎						
Zボルドー水	M1		7	-	◎	◎			◎	◎					
クプロシールドFL	M1		1	-	◎	◎			◎	◎					
コサイド3000DF	M1		14	-	◎	◎		輪	◎	◎					◎
サンボルドー水	M1		21	-	◎				◎	◎					
ドイツボルドーA水	M1		14	-	◎	◎			◎	◎					
スターナ水	31		7	2	◎										
トップジンM水	1		7	1			◎		◎		◎		◎		◎
ベンレート水	1		14	1			◎		◎		◎				◎
			-	1										根	
アミスター20FL	11		14	3				輪	◎	◎	◎				
スクレアFL	11		3	3	◎			◎	◎	◎	◎				
ストロビーFL	11		10	3	◎			◎	◎	◎	◎				
プリントFL25	11		14	2				◎	◎	◎	◎				◎
フロンサイドS C	29		14	1	◎			輪	◎	◎	◎	◎			◎
ロブラール水	2		21	2								◎			
インダーFL	3		7	2	◎				◎	◎					◎
オンリーワンFL	3		7	2	◎			◎	◎	◎					◎
スコア顆水	3		7	2	◎				◎	◎					◎
トリフミン水	3		14	3					◎	◎					
ラリー水	3		14	2	◎				◎	◎					
テプロスFL	U16		14	2				◎	◎		◎				
ダコニール1000FL	M5		10	1	◎			輪	◎	◎	◎	◎	◎		◎
ベルコートFL	M7		7	2				◎	◎		◎				
スパットサイド水	M11		7	2					◎	◎	◎				
ニマイパー水	1・10		14	1				◎	◎	◎	◎				◎
ナリアWDG	7・11		7	2	◎			◎	◎	◎	◎		◎		◎
カスミンボルドー水	24・M1		14	2	◎			輪	◎		◎				◎

*a:最終摘採後
 輪:新梢枯死症(輪斑病菌による)
 根:苗木根部24時間浸漬

チャ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	チ	カ	ツ	チ	ハ	チ	チ	チ	ヨ	マ	チ	ハ	チ	チ	チ	
					ヤ	イ	グ	ヤ	ス	コ	カ	コ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ	カ
除虫菊乳3	3A		10	3									◎							
スピノエースFL	5		7	2	◎						◎	◎	◎	◎						
ミルベノック乳	6		7	1	◎				◎			◎								カ ◎ ◎
エスマルクDF	11A		*k	-							◎	◎	◎							
トアロー水CT	11A		*k	-								◎	◎							
チューンアップ顆水	11A		*i	-							◎	◎	◎	◎						
デルフィン顆水	11A		*i	-							◎	◎	◎							
ハマキ天敵水	31		*i	-							◎	◎								
石灰硫黄合剤	UN		*o	-																◎ サ
サンクリスタル乳	-		1	-									◎							カ ◎
スプレーオイル乳	-		*a	-				◎												◎
		*c	-				◎	◎												◎
ハーベストオイル 乳	-		*e	-				◎	◎											カ
		*m	-																	
ハマキコン-N	-		*h	-							◎	◎								
ラビサンスプレー乳	-		*e	-				◎	◎											◎
オリオン水40	1A	劇	14	3								◎								
エルサン乳	1B	劇	*n	2				◎			◎	コ								
エンセダン乳	1B		*f	1				◎			◎	◎	◎	◎						◎ カ ◎
オルトラン水	1B		45	1				◎				◎								◎
カルホス乳	1B	劇	21	1				◎				コ	◎	◎						◎
ショットガン乳	1B	劇	*b	1				◎												
スミチオン乳70	1B		21	1				◎				コ								成
			90	1																
キラップFL	2B		7	1				◎				◎								
アディオン乳	3A		14	1				◎			◎	◎								◎
アーデント水	3A		14	3				◎				◎	◎							◎ カ
アーデントFL	3A		14	3				◎				◎	◎							◎ カ
スカウトFL	3A	劇	7	3								◎								◎
テルスター水	3A		14	2				◎			◎	◎	◎	◎						◎ カ
トレボン乳	3A		21	2				◎				◎								◎
マブリック水20	3A	劇	21	2	◎	◎		◎				◎	◎	◎						◎ カ

チ
ヤ

チャ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ	チ	カ	ツ	ツ	チ	ハ	チ	チ	チ	ヨ	マ	チ	ハ	チ
					ミ	ヤ	イ	ワ	マ	ス	ヤ	ヤ	ノ	ガ	ノ	ミ	ダ	ハ	チ
ロディー乳	3A	劇	7	1	◎				◎◎			◎◎	◎◎	◎◎			◎		
アクタラ顆溶	4A		7	1	◎◎				◎								◎		
アドマイヤー顆水	4A	劇	7	1	◎				◎				◎				◎		
アルバリン顆溶	4A		7	2	◎◎				◎					◎			◎		
スタークル顆溶																			
ダントツ溶	4A		7	1	◎◎				◎◎					◎		◎◎			
バリアード顆水	4A	劇	7	1	◎◎									◎		◎◎			
ベストガード溶	4A		7	2	◎												◎		
モスピラン顆水	4A	劇	7	1	◎									◎					
ディアナSC	5		1	1	◎					◎		◎◎◎◎	◎◎◎◎						
アフーム乳	6		7	1	◎					◎		◎◎◎◎	◎◎◎◎						◎
コルト顆水	9B		7	2	ア◎			◎◎◎									◎		
バロックFL	10B		14	1														カ	
オマイト乳	12C		14	2														カ◎	
コテツFL	13	劇	7	2	◎				◎			◎	シ		◎◎◎	◎◎◎	カ◎◎	◎◎	
パダンSG溶	14	劇	10	1	◎								◎			◎			
アタブロン乳	15		14	2								◎◎	◎						
カスケード乳	15		7	2	◎			◎◎				◎◎◎◎	◎◎◎◎				◎	◎◎	
ノーモルト乳	15		7	1									◎◎						
マッチ乳	15		7	1	◎							◎◎◎◎	◎◎◎◎						
アブロード水	16		14	2				若	◎								幼		
ファルコンFL	18		7	2					◎			◎◎◎◎	◎◎◎◎						
マトリックFL	18		7	2								◎◎◎◎	◎◎◎◎						
ロムダンFL	18		14	2								◎◎	◎						
カネマイトFL	20B		7	1														カ	
マイトコーネFL	20D		*j	1														カ◎	
サンマイトFL	21A	劇	14	2	◎												◎カ◎◎	◎◎	
ダニトロンFL	21A		7	2				◎					◎				◎カ	◎	
ハチハチ乳	21A	劇	14	1	◎			◎◎					◎		◎◎	◎◎	◎◎	◎◎	
ピラニカEW	21A	劇	21	1	◎												◎カ		
マイトクリーン水	21A		14	1									◎				カサ◎		
ダニゲッターFL	23		7	1					◎								カ◎◎		

チ
ヤ

チャ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ ミ カ ン ア ブ ラ ム シ	チ ヤ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	カ イ ガ ラ ウ ム シ	カ ノ シ シ	ツ マ グ ロ ア オ カ ス ミ カ メ	チ ヤ ト ゲ コ ナ ジ ラ ミ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	チ ヤ ハ マ キ	チ ヤ ノ コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ノ コ カ ク モ ン ハ マ キ	ヨ モ ギ エ ダ シ ヤ ク ネ	ナ ガ チ ヤ コ シ ヤ ガ ク シ	マ ダ ラ カ サ ハ ラ ハ ム シ	チ ヤ ノ ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ハ ダ ニ	チ ヤ ノ ホ コ リ ダ ニ
ダニサラバFL	25A		7	2																カ
ダニコングFL	25B		7	1																カ
エクシレルSE	28		7	1	◎◎				◎	◎◎◎◎	◎◎						◎◎			
サムコロFL10	28		3	1						◎	◎◎◎◎									
フェニックスFL	28		7	1						◎◎◎◎	◎◎◎◎		シ							
ヨーバルFL	28		7	1	◎						◎◎◎◎	◎◎	成◎◎							
ウララDF	29		7	1	◎◎				◎◎									◎		
グレーシア乳	30		14	1	◎				◎			◎◎◎◎			◎◎		◎◎			サ◎
ダニオーテFL	33		14	1																カ
粘着くん液	-		1	-																カ
フロンサイドSC	-		14	1																◎
ベミデタッチ乳	-		7	-														◎		
アブロードエースFL	21A・ 16		14	2		◎◎◎			◎					◎				◎		◎◎

- *a: 5~9月
- *b: 最終摘採後~12月まで
- *c: 10~3月
- *e: 夏期(5~9月)、秋冬期(10~3月)
- *f: 最終摘採後~萌芽前(但し摘採60日前まで)
- *h: 成虫発生初期~終期
- *i: 発生初期(但し摘採前日まで)
- *j: 摘採14日前まで(但し遮光する栽培では遮光開始14日前まで)
- *k: 発生初期(但し摘採7日前まで)
- *m: 萌芽前又は摘採直後
- *n: 最終摘採後~冬期まで
- *o: 夏期、冬期
- ア: アブラムシ類
- カ: カンザワハダニ
- コ: コカクモンハマキ(チャノコカクモンハマキの旧名称)
- サ: サビダニ類
- シ: シャクトリムシ類
- 若: 若齢幼虫
- 成: 成虫
- 幼: 幼虫

チャ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病、もち病、網もち病	5～7月 9～10月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル#1 2000～3000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 ダコニール1000#2 1000倍 Zボルドー(水)#3 400～500倍 ストロビーフロアブル#4 2000倍 フロンサイドSC 2000倍	炭疽病は、雨の多い年や日照の少ない樹陰地の茶に発生が多い。 #1 網もち病 2000倍 #2 炭疽病、もち病 700～1000倍 #3 炭疽病 400倍 #4 炭疽病 2000～3000倍
ツマグロアオカシミカメ	5月上旬～ 7月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ロディー乳剤 1000倍 アクタラ顆粒水溶剤 3000倍	防除は萌芽期から1葉期までに行う。
チャドクガ(チャケムシ)	5～11月	1. 若齢幼虫中に捕殺する。 2. 最終摘採後から冬期までに散布する。 エルサン乳剤 1000倍	チャドクガの幼虫は、5～6月及び7～8月に発生する。
チャハマキ、チャノコカクモンハマキ	4月下旬～ 5月上旬(一番茶前) 6月中旬～ 7月上旬(二番茶前) 7月下旬～ 8月中旬(二番茶後) 9月上旬～ 10月中旬	1. 成虫密度を下げてからハマキコン-Nを150～250本/10a処理すると効果がある。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 グレーシア乳剤 2000倍 コテツフロアブル# 2000倍 スピノエースフロアブル チャハマキ 4000倍 チャノコカクモンハマキ 2000～4000倍 フェニックスフロアブル 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍	#チャノコカクモンハマキのみに登録 二番茶葉に被害が多い。 幼虫が葉裏の表皮下に潜入している時期に防除する。
チャノホソガ(チャノサンカクハマキ)	4月上旬～ 下旬 5月下旬～ 6月中旬 7月上旬～ 下旬 8月上旬～ 下旬 9月中旬～ 10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 4000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 アドマイヤー顆粒水和剤 5000～10000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍	

チ

ヤ

チヤ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
チャノミドリヒメヨコバイ	6月上旬～10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤 2000～3000倍 アディオン乳剤 2000～3000倍 コテツフロアブル 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500倍	二、三番茶期の芽に被害が多い。
ナガチャコガネ幼虫	10月中旬～11月中旬	・被害発生部にスミチオン乳剤 70を土壌灌注する(2000～4000倍、1㎡あたり5ℓ)。	6～7月に出現した成虫は、土中に産卵。幼虫が根を食い翌年の一番茶が減収する。
クワシロカイガラムシ	5月中旬～下旬 7月中旬～下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤 2000～3000倍 アプロードエースフロアブル #1 1000倍	幼虫ふ化期に防除する。ふ化後の幼虫は小さく見つけにくい。5月中旬頃カイガラをはがして卵～幼虫がこぼれてくる状態から孵化最盛期となる。 #1 カイガラムシ類での登録
	秋冬期(10～3月)	・ハーベストオイル 50～100倍	
カンザワハダニ	秋冬期～春期発芽前又は摘採直後	・ハーベストオイル 50～150倍	かぶせ茶園では必ず防除を行う。晩霜害のあった場合は多発しやすいので、殺ダニ剤による防除を励行する。殺ダニ剤は、みる芽につくと葉害が生ずることがある。
	3月中旬～下旬(萌芽前) 5月下旬～6月中旬(一番茶摘採直後) 8月上旬～11月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル 1000倍 ダニオーテフロアブル 2000倍 ダニゲッターフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 バロックフロアブル 1000～3000倍	
チャノナガサビダニ	4～6月9～11月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイトフロアブル 1000～2000倍 ミルベノック乳剤 1000倍	一番茶摘採後に発生が多い。